

Living the Lotus

9
2022

VOL. 204

Buddhism in Everyday Life

開祖随感

相手が変わる保証

「自分が変われば相手が変わる」という言葉の意味が分からない人はいないでしょう。では本当に分かっているかという、「こっちは悪くないのに、どうして自分のほうが変わらなくてはならないんですか」などと質問する。「こっちが変わっても、それで相手が本当に変わるという保証があるんですか」と聞いてくる。難解難入なんげなんにゅうとは、そここのところなのです。

自分の常識や利害にしがみついていたのでは、法の世界へ入るのは至難の業です。けれども、そこで縁起について学ぶと、この世の中で一方だけがぜったいに正しくて、一方はぜったいに悪いといったことはありえない、と分かってきます。同じように、自分が変わったのにそれが相手になんの影響も与えないといったこともありえないのが分かってくるのです。

縁起とは、自分だけで存在するものも、そのままの状態でもどまるものもなく、すべての存在が必ず他との相互関係で移り変わっていくものだ、という教えなのです。

とにかく、まず実行してみると、その世界が「なるほど」といっぺんに分かってきます。

(『開祖随感』8, P. 260-261)

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus
2022年9月号 (Vol.204)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international
@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 赤川恵一

編集チーフ: シグシドホルル・ゲレルトヤー

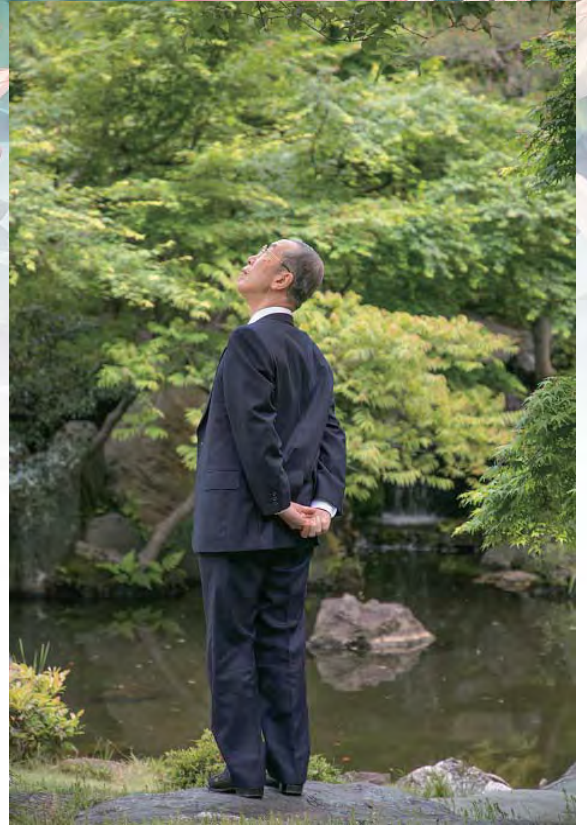
校閲者: 小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

信じるものがある幸せ —— 禅定

立正佼成会会長 庭野日鏡



心が乱れるのは菩薩失格か？

仏の教えを学ぶ私たちは、慈悲の心^{じひ}で他を思いやり、その実践をとおして人としての成長をめざしています。そうした実践を「菩薩行^{ぼさつぎょう}」と呼び、その行動の指針を六つにまとめた教えが「六波羅蜜^{ろくはらみつ}」です。ただ、そのなかの「禅定^{ぜんじょう}」は、開祖さまが「つねに真理^{しんり}に従うように心が定まり」「どんなことが起こっても、迷ったり、動揺したりしない、静かな、落ち着いた心」と説明するように、行動の指針というより、菩薩に求められる心の状態を示すものです。

しかし、何があってもそのような安定した心でいられるでしょうか。また、それができないと菩薩として失格なののでしょうか。人間である以上、動揺も迷いもしないというのはきわめてむずかしいことです。だからといって、私はそれで「菩薩失格」とはいえないと受けとめています。

私たちは日々、さまざまな人やできごとに出会います。無常^{むじょう}の教えのとおり、一瞬一瞬^{そうぞう}が創造と変化にみちた新たな出会いの連続です。そのなかでは、ときに動揺したり、冷静さを失ったりすることもあります。仏のようにおだやかな心を持ちながらも、怒りや貪り^{むさぼ}によって心をかき乱されることもある私たちですから、その事実をまず、きちんと受けとめることが大切だと思うのです。心が定まらないという現実を直視すればこそ、「何があっても揺らぐことのない境地を得たい」「心の底から信じられる確かなものをつかみたい」という気持ちが起きるのです。現にみなさんの多くが、そうしてご法^{けちえん}と結縁したのではありませんか。

その意味では、迷ったり悩んだりすることもまた大切なことです。心が揺れ動くことがあっても、それは生きている証^{あかし}です。そのようにおおらかに受けとめ、真理(法)を求めることのできる人間として命を授^{さず}かったことに感謝できれば、それこそが「真理に従うように」心が定まった、菩薩らしい禅定の境地の一つに違いありません。

「真理という月」を見る

一休禅師の道歌に「くもりなき一つの月をもちながら 浮世の闇に迷いぬるかな」があります。月明りが夜道の歩みを助けるように、真理という月も私たちをつねに照らしている。それなのに、その真理を見ようとならない人は、闇夜を手さぐりで歩むときに似て、いつも不安や焦^{あせ}りや恐れを胸にかかえて生きているということでしょう。

釈尊^{しゃくそん}が亡くなられる直前に説かれた「自灯明・法灯明」の教えは、「真理を信じ、その真理に従う自分をよりどころとしなさい。法をよりどころとしなさい」ということですが、このお諭^{さと}しは、私たちの歩みを助ける、まさに月明りのようなお言葉といえます。つまり、「すべてのものごとは移り変わり、あらゆるものごとは縁によって起こる」といった根本的な真理を、自分の行動や目の前の問題と重ねあわせる習慣が大切なのです。そのことによって少しでも心が楽になり、穏^{おだ}やかに became なら、それが悩みや苦しみから解放されるいとぐちになります。

禅定——迷いのない落ち着いた心という、一般には瞑想^{めいそう}などによって心を静めることが知られています。瞑想にはさまざまありますが、要は、いま現在の自分の行動や目の前の現実をよく見て、受けとめ、心の焦点^{しやうてん}を真理にあわせることにつきると私は思います。そして、それを簡潔^{かんけつ}に「自灯明・法灯明」と示す確かな教え、いつでも心を安んじてくれる信仰に出会えた私たちは、ほんとうに幸せです。

月見の季節を迎えたいまも、同じ月の光を浴びながら、心穏やかに暮らせない人びとがいます。布施^{ふせ}にはじまる六波羅蜜^{りたぎょう}の各利他行は、私たちがそういう人たちの心に慈悲の光を届けることでもあるでしょう。「真理という月」を愛^めでる禅定は、そのための前提となる菩薩行なのです。

(『佼成』2022年9月号)

懺悔で芽生えた母への感謝

ウランバートル支部
ムンゲンツェツェグ・アマラバヤスガラン

この体験説法は、『佼成』2022年7月号に掲載された「信仰体験 いのち新生」の内容を一部編集したものです。

1997年、私はモンゴルの首都ウランバートルで生まれました。すでに父と離婚していた母と祖母の二人に育てられました。生活は楽ではありませんでしたが、明るく、料理上手な母との幸せな思い出が多く残っています。しかし、そうした生活は長く続きませんでした。

私が小学三年生のとき、母は仕事のために家を離れました。その後も定期的に会っていましたが、学校生活が忙しくなると、夏休みなどの長期休暇だけ一緒にすごすようになりました。そのときは、いままでと変わらない母のやさしさにふれ、とてもうれしかったのを覚えています。

母の異変に気づいたのは、高校一年生のときです。夏休みに母が暮らすアパートを訪れると、交際相手の男性が出入りしていました。その男性は母が外出するときは必ず一緒に、母は自由に行動できず、友人と会ってゆっくり話すこともできないほどでした。このとき、私は母がお酒を頻繁に飲む姿を見て、不安を感じました。翌年、男性と別れた母は私たち家族と生活するようになったのですが、お酒を手放せなくなっていました。

毎日のように体が受けつけなくなるまでビールを飲み、ベッドに横になる母。家事はおろか身の回りの整理もできず、日常会話すら成立しない状態でした。見かねた私が「もう飲むのはやめてよ！」といくら注意しても、返ってくるのは「はい、はい」という空返事だけです。

明るく、やさしかった母はどこに行ってしまったのか——母のことが心配だったものの、一変した態度を目にするたび、悔しくて怒りが湧き、日ごとに言い争いが増えていきました。

2014年7月、ついに怒りを爆発させるできごとが起こります。私たち一家はウランバートルから東へ約六十キロ離れたテレルジ国立公園にある宿泊所で夏休みをすごすのが慣例でした。その年も親戚一同が集まり、母もお酒を酌み交わしていました。

私は翌日に友人と出かける約束をしていたため、母から小遣いをもらったのですが、ふと財布を確認すると、お金がありません。嫌な予感がした私は「僕の財布からお金をとった？」と母に詰め寄りました。なぜなら、以前、祖母のお金を勝手に酒代にしていたからです。母は「とってない」と言いつつ、目をそらします。何度確



ムンゲンツェツェグ・アマラバヤスガランさん

認しても同じ返事ばかりで、我慢できなくなった私は、怒りのあまり母の頬を右手で平手打ちしてしまったのです。そして、「もういい加減にしてくれ！」と叫んで部屋を飛び出しました。

その日は友人宅で一夜をすごしました。翌日、宿泊所へ帰るバスのなかで、母を叩いてしまった手のひらを見つめ、後悔の念にさいなまれました。

夜遅くに帰ると、昨夜のできごとを聞いた祖母から「あなたが怒るのは無理もないけど、親に手を出すのは罰当たりだよ」と諭されました。モンゴルでは「親や年長者を敬う」という文化が強く根づいています。年長者の前での飲酒や喫煙は失礼とされ、親に手をあげるのは道徳に反する罪深い行為なのです。

その三日後、酒気の抜けた母から、お金をとったことを告白されました。次いで母の口から出てきたのは、祖母と同じように「親に手を出すはいけないよ」という言葉だけでした。私は謝るつもりでしたが、先の言葉で突き放されたような感覚を覚え、「やっぱり嘘だったんだね」と母を冷たく責めてしまいました。

お酒さえ飲まなければ、やさしいはずの母の姿を思い浮かべると、悲しみが募りました。母の体調を心配していることを理解してもらえない悔しさもありました。私は、母にやさしい言葉をかけてもらい、家族で幸せに暮らしたいと願っていただけなのです。

それでも、母に手をあげてしまった罪悪感は、いくら時間がたっても私の胸から消えることはありませんでした。だれかに打ち明けて、ゆるしを請いたいけれど、「親に手をあげたひどい人間」と思われそうで親友にさえ相談できませんでした。立正佼成会の縁にふれたのは、そんなときです。

「仏教者の集まりがあるけど一緒に行かない?」。高校を卒業後、アルバイトをしながら友人と遊んでばかりの毎日を送っていた私は、佼成会ウランバートル支部の会員を友人にもつ伯母から法座に誘われました。気乗りしませんでしたでしたが、親戚の頼みとあっては断れませんでした。法座では、参加者が赤裸々に悩みや喜びを語る姿に驚くとともに、思いを打ち明けられる場があることが、うらやましくもありました。三回ほど参加したあと、気づけば一人で支部に足を運んでいました。

2017年6月、佼成会の多摩支教区の一団がウランバートル支部に布教支援に訪れたときのこと。団長を務める立川教会の馬場久枝教会長さん(当時)を法座主に法座が開かれました。私は思いきって、母のアルコール依存について話しました。教会長さんは、母に立ち直ってほしいと願う私の気持ちをじっくり聞いてくださったうえで、「自分が変われば、相手が変わる」という教えの実践と先祖供養の大切さを示されました。

「自分が変われば、相手が変わる」とは、この世のすべての現象は相互に関係し合っているのだから、まずは自分が仏の教えに沿った正しいものの見方や生き方をすることが大切で、そうすればおのずと周囲も変化していくという教えです。心を磨き、正しいものの見方を身につけることで、母との関係が変化すると思うと、目の前が明るくなる気がしました。それからは、母がお酒を飲んだ日は怒りを鎮めて家事に集中し、自らのいのちへの感謝として先祖供養を心がけました。すると少しずつですが、母の言動に心が乱れることがなくなり、穏やかな気持ちで接せられるようになったのです。この変化に感動し、もっと教えを学びたいと考えるようになりました。

その後、看護系の短期大学で学びながら、月に二回、支部の法座に参加しました。やがて、佼成会本部に、講義や布教実習を通じて信仰を学ぶ「学林」という人材育成機関があり、海外修養科生を受け入れていることを知りました。以来、日本で深く教えを学びたいと思いつけた私は、2019年5月、学林の入林試験に臨み、合格することができたのです。祖母と母は、「二年間、がんばって」と喜んでくれました。

一昨年4月、学林での生活がスタートしました。日本語を必死に学び、充実した毎日でしたが、心には母に手をあげたという過去の記憶が残ったままでした。「もう忘れよう」と何度も思いましたが、テレビなどで親子関係が話題に上るたび、あの日の光景が思い浮かび、自分をゆるせなくなってしまうのです。幻滅されるのが怖くて、だれにも話せない日々が続いていました。しかし学林二年目に、その気持ちを打ち明ける日がきました。

昨年10月、二週間の布教実習のなかで「身延山練成」が行なわれました。担当講師と学林本科生、海外修養科生の合わせて十三人が白装束でお題目を唱えながら身延山(山梨県)を登頂します。事前の説明で、学林の大友祥江次長さんが、思親閣がある身延山は「親を思う山」であり、「親に対する心のなかの重い荷物を山に置き、きれいな心で帰ってきてください」と話されました。そのとき私の胸に、母に手をあげたときの悪夢がよみがえりました。

「ゆるしてほしい」。そう思うと、もう心に蓋をしておくことができずしてしまいました。思わず、本部国際伝道グループスタッフの萩原陵介さんと海外修養科担当講師のアディルビシュ・バダマホルロ組長さんに、「親に対して悪

いことをしました。私はどうしたらよいですか」と率直に相談しました。すると二人は、「懺悔には二段階あり、まずは人前で自分の隠しごとを告白することですよ」と声をかけてくれました。

午前十時すぎ、身延山練成がはじまりました。うちわ太鼓を打ち鳴らし、全員でお題目を唱えながら登っていきます。山道を踏みしめるたび、私のなかで「親に対する心のなかの重い荷物を山に置き、きれいな心で帰ってくる」という大友次長さんの言葉がこだましていました。私はいつしか、両親のことを思い浮かべていました。

私が幼いころに家を出て、お酒におぼれてしまった母。父に至っては、名前すら知りません。その二人のせいで、つらい思いをしてきた自分の姿が見えました。でも同時に、ご先祖さまや両親がいのちをつないでくれなければ、私はこの世に生を享けることはなかったとも感じたのです。佼成会の教えに出遇えたことで「生かされて生きている自分」に気づけました。つらいことも多かったけれど、一つ一つのできごとが、いまにつながっていると思うと、私を生んでくれた母への感謝が胸にこみ上げてきました。そしてまずは自分が変わる一歩として、懺悔をしようと決心したのです。

その晩、萩原さんとバダマ組長さんとのオンライン法座がありました。山中で決意したはずでしたが、緊張でなかなか口にできません。それでも真剣に話を聴こうとしてくれる二人の姿に安心した私は、「山から懺悔する自信をもらいました。だからいま、告白します」と震える声で切り出しました。母を平手打ちしてしまったこと、素直に謝れずに罪悪感を抱え、恋しい母に見放されたの

Spiritual Journey

ではないかと不安でいたことを吐露しました。話しながら母への申し訳なさが胸に迫り、涙がとめどなく溢れました。話を聞いていた二人も目に涙を浮かべ、「アマラ、きょうは懺悔できてよかったね」とやさしい言葉をかけ、自分のことのように喜んでくれたのです。あらためてサンガ(同信の仲間)のありがたさを実感しました。

翌日、今度は大友次長さんとの法座でも母への過ちを正直に打ち明けました。そのとき、大友次長さんから「お母さんが大好きだからこそ自分の行ないを反省し、懺悔できたのですね。その気持ちをお母さんに伝えてください」とアドバイスをいただきました。

布教実習のあと、母にテレビ電話をかけました。実習中や身延山練成をとおして得た学びを話し、「あのとき、叩いてしまってごめんなさい」と約七年越しに謝ることができました。母は目を細めて喜び、私から叩かれても、すぐにゆるしていたと話してくれました。穏やかな母の表情を見て、幼いころに感じた幸せを再び味わうことができたのです。

今年3月、私はモンゴルに帰国し、再び家族と暮らしはじめました。9月からは休学していた短大に通う予定です。いまでも母は飲酒することがあります。でも、私の心に以前のような怒りはありません。というのも、「お酒を飲んだこと」を善悪で判断するのではなく、その理由を知ることが大切だと思うからです。

これまで、母のアルコール依存によって私だけがつらい体験をしてきたと思っていました。けれど、女手一つで家計を支え、わが子と離れて暮らす日々は、母にとってもつらかったに違いありません。そうしたなか、お酒だけが孤独を癒してくれたのでしょう。「母も苦しんでいた」。そう

思えたとき、私が母を支えたいという気持ちが湧き、いま、こうして家族と暮らせることに心から感謝できました。

私が懺悔したとき、サンガの方々は私の苦しみに寄り添ってくれました。これから先、母がお酒に頼りそうになったときは、みなさんがしてくれたように、私が母に寄り添っていきます。



身延山練成に参加するアマラバヤスگرانさん

まんが 立正佼成会入門

お釈迦さまの生涯と仏教の教え

お釈迦さまの入滅

お釈迦^{しゃか}さまはクシナガラ^{にゅうめつ}の地で80年の生涯を終えました。このことを「入滅」といいます。日本のこよみに直すと2月15日の夜半のことでした。入滅したとき、とつぜんに大地震が起こり、雷が鳴ったといわれています。

「みんなに言い残しておきましょう。すべての現象は移りゆくものです。おこたらず努力することですよ」

お釈迦さまは入滅する前、最後の力をふりしぼって弟子たちに、このような言葉を残しました。



豆知識

お釈迦さまの遺言として、「この世では自己をよりどころとし、教えをよりどころとしなさい」という言葉も伝えられている。厳しい修行に励む弟子たちを勇気づけようとする、お釈迦さまの気持ちが伝わってくる言葉だ。

※私的使用を除き、無断で複製・転載をしないでください。



『まんが立正佼成会入門』は、佼成ショップにて好評発売中です。
<https://www.koseishop.com/>

お釈迦さまの十大弟子①



お釈迦さまにはたくさんの弟子がいて、それぞれの力を出しあって布教や教団の運営にあたりました。中でも知られているのが十大弟子です。

すぐれた智慧をもつ舍利弗。神通力という能力をもつ目連。須菩提は「空」という教えについて、よく理解していました。

また、摩訶迦旃延は教えをやさしく解説することがじょうずでした。富楼那は説法の第一人者といわれて、故郷で生涯にわたって布教を行ないました。

※私的使用を除き、無断で複製・転載をしないでください。

豆知識

「神通力」とは、一般の人が見たり、聞いたり、感じたりすることができないものを感知する特殊な能力のこと。目連はこの能力で、地獄に苦しむお母さんを知り、救い出すために供養をしたという話がある。

Director's Column

自己中心を放棄してみる

国際伝道部長

赤川 恵一

「部長コラム」読者の皆さん、こんにちは。コロナ禍で迎えた3年目の夏も終盤となりました。そろそろ猛暑疲れは起きていないでしょうか。ご健康をお祈りしています。

今月は「信じるものがある幸せ」をご法話のテーマに、「禅定」の徳目を分かり易く解説して頂きました。在家の生活を送っている私たちにとっては、日々の「一瞬一瞬が創造と変化にみちた新たな出会いの連続」です。そんななか、「迷い」「動揺」「怒り」「貪り」で心かき乱されがちな私たちに向け、会長先生は心の整え方について懇切丁寧に分かり易くお示しく下さいました。

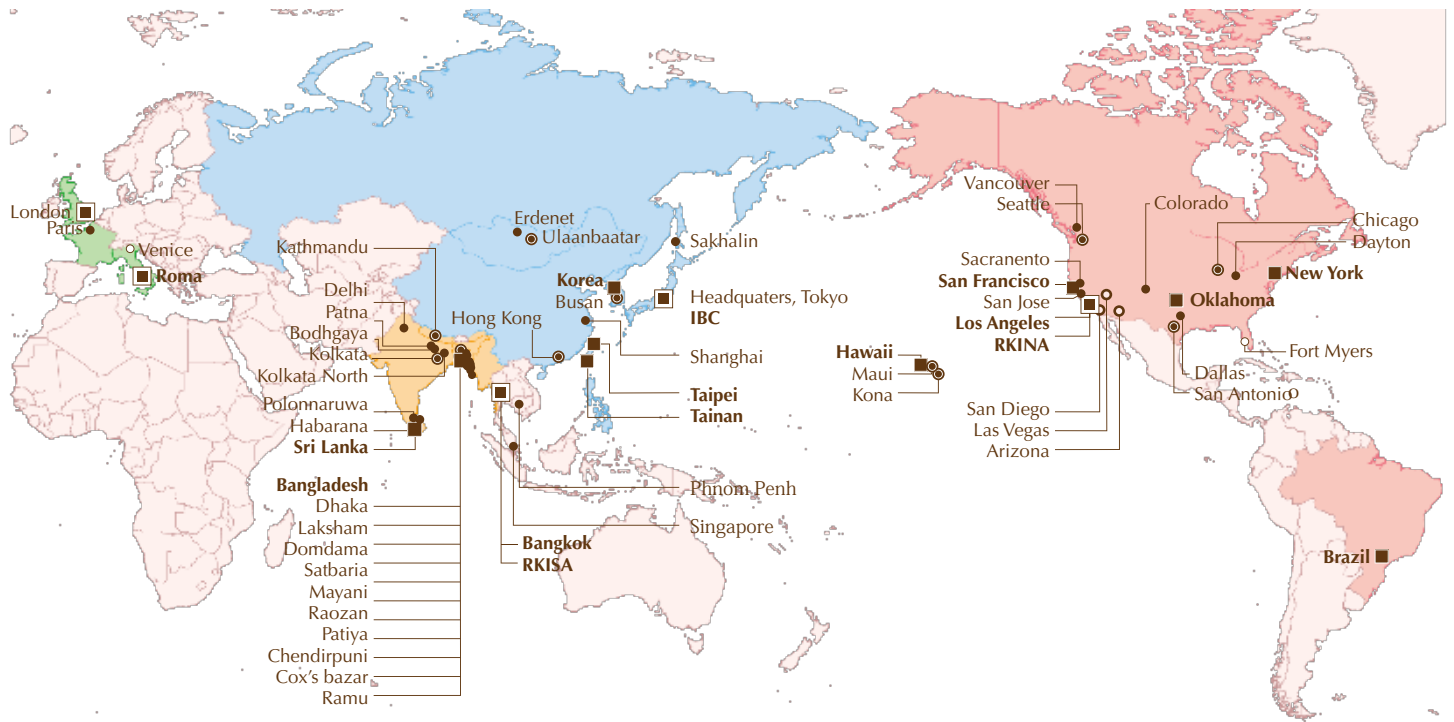
佼成会員である私たちは、さまざまな「苦」を自らが体験し、その苦しみを乗り越える中で、ご法を学び、またはサンガからの慈悲を頂戴するという精進の原体験をもっているはずですが、苦の原因が自分の受け止め方にあったことを探し当て、内省をとおして「自己中心性の放棄」に向かって努力する中にこそ、苦の解決に向けた道筋が示されてあるのだなと気づかされます。「禅定」のご法話からは、そんな真理に沿った心の定め方を学ばせて頂きました。



✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。
お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA
 TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633
 Email: sangha@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1809 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA
 TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA
 TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA
 TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567
 Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

(Address) 1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA
 (Mail) POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA
 TEL: 1-650-359-6951 Email: lotusbuddhist@gmail.com
 URL: <https://sf-buddhism.org/>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

- Rissho Kosei-kai of Sacramento
- Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA
 TEL: 1-212-867-5677 Email: rkny39@gmail.com URL: <http://rk-ny.org>

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA
 TEL: 1-773-842-5654
 Email: murakami4838@aol.com URL: <http://rkchi.org>

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

(Address) 2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA
 (Mail) POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA
 TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303
 Email: rkokdc@gmail.com URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA
 URL: <http://www.rkina-dayton.com>

The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA
 TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-269-4567
 Email: info@rkina.org
 URL: <https://www.buddhistcenter-rkina.org>

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA
 (Mail) POBox 692148, San Antonio, TX 78249, USA
 TEL: 1-210-558-4430 FAX: 1-210-696-7745
 Email: dharmasanantonio@gmail.com
 URL: <http://rksabuddhistcenter.org>

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA
 TEL: 1-253-945-0024 Email: rkseattlewashington@gmail.com
 URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil
 TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377
 Email: risho@rkk.org.br URL: <http://www.rkk.org.br>

在家佛教韓國立正佼成會 Korean Rissho Kosei-kai
〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

**在家佛教韓國立正佼成會釜山支部
Korean Rissho Kosei-kai of Busan**
〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

社團法人 在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Taipei
台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongheng District, Taipei City 100, Taiwan
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

台南市在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Tainan
台灣台南市東區崇明 23 街 45 號
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488
Email: koseikaitainan@gmail.com

Rissho Kosei-kai South Asia Division

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Kathmandu
Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai Society of Kolkata
89 Srirampur Road (VIP), Garia, Kolkata 700084, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North
AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center
Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rampur, Gaya-823001,
Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center
Please contact Rissho Kosei-kai Society of Kolkata

Rissho Kosei-kai of Central Delhi
77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,
New Delhi 110060, India

Rissho Kosei-kai of Singapore
Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh
W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,
Phnom Penh, Cambodia

RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia
Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Bangkok
Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei Dhamma Foundation
No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa
Please contact Rissho Kosei Dhamma Foundation

Rissho Kosei-kai Bangladesh
85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
TEL: 880-2-41360470

Rissho Kosei-kai Mayani
Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Damdama
Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Satbaria
Village: Satbaria Bepari Para, Chandanail, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Chendhirpuni
Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai Raozan
Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Laksham
Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Dhaka North
408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar
Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Please contact Rissho Kosei-kai Bangladesh

Rissho Kosei-kai Patiya
Rissho Kosei-kai Ramu
Rissho Kosei-kai Aburkhill

Buddiyskiy khram "Lotos"

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia
TEL: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai of Hong Kong
Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai
Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar
(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoroov-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Erdenet
Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai di Roma
Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Please contact Rissho Kosei-kai di Rome

Rissho Kosei-kai of Paris
Rissho Kosei-kai of Venezia

Rissho Kosei-kai of the UK
29 Ashbourne Road, London W5 3ED, UK
TEL: 44-20-8933-3247 Email: info@rkuk.org URL: <https://www.rkuk.org>
Facebook: <https://www.facebook.com/rkuk.official>
Twitter: https://twitter.com/rkuk_official
Instagram: https://www.instagram.com/rkuk_official

Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)
166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: <http://www.ibt-rk.org>